

防災と福祉が連携してサポートします！

★印の付いているところが
市内で個別避難計画の取り組みを
実施した地域です！

取り組み地域
増加中！

「個別避難計画」の取り組みの流れ

ステップ1 地域住民の皆さんへの研修会

地域住民や関係者が集まり、地域の災害リスクや防災の基礎知識、計画作成の重要性について理解を深めるための研修会を行います。



ステップ2 避難方法を考える会議（地域調整会議）

避難に支援が必要な方の避難支援方法を考える会議を行います。

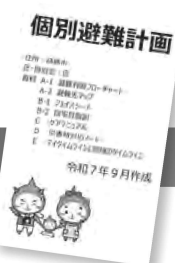


ステップ3 避難訓練（防災訓練）

計画どおりに避難できるか、訓練を行い確認します。



完成 災害時に活用



避難行動要
支援対策の
ホームページ



個別避難計画の作成を進める地域については、地域の災害リスクや避難行動要支援者の心身の状況等も考慮し、市から個別に取り組みを依頼します。その際は、計画作成について、区・自治会の皆さんのご協力をお願いします。

区・自治会の皆さんへ
ご協力をお願いします

取り組みを通して
大切にしていること
計画を作成し、実際の災害で命が守られることが重要であることはもちろんですが、計画を作成することで、支援が必要な方を地域で支えるきっかけとなり、普段の生活の中でも地域のつながりが進み、支援が必要な方が生活しやすい社会づくりにつながることも目的として取り組んでいます。



個別避難計画づくりは 地域づくり

誰ひとり取り残さない地域を目指して



☎ 社会福祉課 ☎ (25) 8120

特集2

近年の災害による被害者は、高齢者や障がい者等の自力で避難が難しい「避難行動要支援者」に集中しています。
高島市では、琵琶湖西岸断層帯や南海トラフを震源とする震災、線状降水帯や台風の大雨による河川の氾濫・土砂災害等への備えが必要です。避難行動要支援者を含む、市民一人ひとりの大切な命を地域のみんで守るため、誰ひとり取り残さない地域を目指す「個別避難計画」づくりの取り組みを紹介します。

個別避難計画とは

避難行動要支援者が災害時に「いつ」「だれと」「どこに」「どのように」避難するのか、地域ぐるみで作成する個別の避難行動計画のことです。
市では、区・自治会、自主防災組織、社会福祉協議会職員、市職員をはじめ、避難行動要支援者に日頃から関わっている保健・福祉などの専門職（ケアマネジャー、相談支援専門員、訪問看護師等）、地域で見守り活動をしている民生委員等が参画し、計画作成に取り組んでいます。

計画作成に取り組んだ地域の声



マキノ町 小荒路区
区長 谷口 浩志さん

これからの時代は、これまで災害が起こらなかった地域でも、いつ災害が起こるかわかりません。また、今後高齢化が進むことも踏まえ、いざというときの対応の予行演習が必要と考えます。

この取り組みは、防災や地域のことを区や自治会内で話し合うきっかけになります。普段からの地域コミュニティ、つまり、人と人とのつながりこそ災害時に生かされます。

専門職の声



湖西介護支援専門員連絡協議会
会長 都井 薫さん



計画を作成するにあたり、要支援者の身体の状態、家の環境など、情報を整理して地域の方に伝えることはとても重要です。その後の生活のようすに変化があれば、状態に見合った計画になるよう、地域の皆さんに共有することもケアマネジャーである私の役割の一つと思っています。

今後も取り組みに関わり、地域や要支援者の安心につながれるようにしたいと思います。